

阿南工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語総合 1
科目基礎情報					
科目番号	1114H41		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	一般教養		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	Earth Watch (センゲージラーニング)				
担当教員	勝藤 和子, 藤井 浩美				
到達目標					
1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
到達目標1	社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、内容についての質問に英文でも答えられる。		社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、内容についての質問に、選択肢や日本語、単語レベルの英語で答えられる。		社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、内容についての質問に、選択肢や日本語、単語レベルの英語でも答えられない。
到達目標2	教材の番組のスク립トを読んで、内容についての質問に英文で答えられる。		教材の番組のスク립トを読んで、質問に対して選択肢や日本語、単語レベルの英語で答えられる。		教材の番組のスク립トを読んで、質問に対して選択肢や日本語、単語レベルの英語でも答えられない。
到達目標3	学習した重要語句や重要文法事項を使い、十分情報を補足しながら自分の意見を表明する英作文ができる。		学習した重要語句や重要文法事項を使い、1~2文で自分の意見を表明する英作文ができる。		学習した重要語句や重要文法事項を使って英文の形で自分の意見を表明することが全くできない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	社会的、または科学的な話題を取り扱った英語視聴覚教材の音声・映像とそのスク립トを通して社会現象や科学技術の基本用語を含む英文の聴解力・読解力を高める。また登場した語彙や文法の重要事項を習得し、その知識を和文英訳や自分の意見を表明する簡単な英作文に応用できるようにする。				
授業の進め方・方法	予習では、My Opinion, Vocabulary Refreshに取り組み、その週で扱うテーマについて。授業では、Key Word Study, Listening Practice, Listening Practice 2 をDVDを視聴しながら解答と解説を行う。教員がその日の Lesson の II. Reading の重要語句、構文を、スライドを視聴しながら説明する。復習では、授業で取り扱った Lesson の II. Reading について、Vocabulary Check, Comprehension Questions, Grammar Check に取り組む。 【授業時間30時間+自学自習時間60時間】				
注意点	1. 授業には英和辞書（電子辞書可）を持参すること。 2. オリエンテーション時に説明する方法で、自学自習として予習復習を十分行うこと。 3. 教材のDVDを自分でも視聴できる環境を整えておくこと。 4. ポートフォリオは、課題の取り組み状況（内容）を評価する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション Unit 1	学習方法についての理解	
		2週	Unit 1	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。	
		3週	Unit 2	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。	
		4週	Unit 3	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。	
		5週	Unit 4	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。	
		6週	Unit 5	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。	

4thQ	7週	Unit 6	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
	8週	Unit 7	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
	9週	【後期中間試験】	
	10週	Unit 8	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
	11週	Unit 9	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
	12週	Unit 10	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
	13週	Unit 11	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
	14週	Unit 12	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
	15週	Unit 13	1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
	16週	【学年末試験】	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
		英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3		
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3		
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3		

			自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
		英語運用能力向上のための学習	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0